

開催日：平成 29 年 7 月 1 日（土）

平成 29 年度同窓会総会 会長ご挨拶

本日は、梅雨空の蒸し暑い中、またご遠方からも含め沢山の方々が本総会に足をお運び頂き誠にありがとうございます。私が本総会の議長を務めさせていただきます。経済学部経済学科、19 回生、岡ゼミでクラブ活動は商業英語研究会（BEC）に所属しておりました。ご承知のように、昨年の総会において井上前会長の後を受け、会長に選任されました。従いまして、会長として初めての総会でございますので何分宜しくお願いいたします。



昨年の総会時にご報告した熊本・大分地区の地震被害につきましては、東日本大震災の時と同様に同窓生で被害に遭われた方へのお見舞金を考えているとしておりました。最終的には 8 名の被災者の方々へ義援金をご提供させていただきました。東日本大震災時に比べ被災者の数が少なかったため、前回皆様からお寄せいただいた義援金で繰り越していた中から充当させていただきました。同窓会（基金）会計決算書の内の義援金の欄をご参照ください。

100 周年記念事業の一環として計画しておりました朝霞のクラブハウスは昨年の 10 月に無事竣工式を執り行い運営を開始しました。昨年の総会時に同窓会本部からの寄付を行い目標の一億円を目指すことについてお話ししご了承を頂いておりました。父母会からの 7000 万円の寄付に加え、白雉体育会からの寄付金 529.5 万円他皆様からの寄付が寄せられた結果、同窓会本部からは 1000 万円の寄付を行うことを決定し目標の一億円になりました。同窓会（基金）会計決算書の財産目録の欄をご参照ください。

昨年度の活動報告の詳細はこの後、事務局よりご報告いたしますが、私の方からはいくつかのポイントについてご報告いたします。2016 年度の新しい取組みとして 2 点あげられます。一つ目は本部組織に文連・サークル部会を新たに設置しより多くの文連・サークルの OB 会活動を支援し同窓会活動の活性化をはかっていくことをスタートいたしました。同部会では 2020 年度までの中期計画を策定し、段階的に活動の輪を広げ最終的には文連・サークル部会合同懇親会開催を目標としております。本日、ご参加の方々に関連するケースがありましたらご協力のほど宜しくお願いいたします。二つ目としては、職域・業種部会において、新たに「職域白雉会」を発足し各業種の幹事の方々にお集まりいただきました。12 月の発足会には各業種から 22 社 29 名の参加があり、学園・大学との協力体制のもとスタートをきりました。今後は職域白雉会を通じ「卒業生同志の交流」「在校生との交流」「就職支援」を推進していくことといたします。

次に土曜講座ですが、今年度も 3 回の開催を行い、どの会も興味深いテーマを大学側の講師と同窓会からの講師それぞれにご講演をいただき大変に好評でした。その中で、一件とりあげさせていただきますが、7 月 16 日に行われた懐石料理店「二木屋」経営の 29 回生小林玖仁男氏による「あの世へ逝く力」は余命宣告された立場でそれを乗り越えていく姿を明るく・分かり易い解説で聴講者に感動をあたえていたと思います。その後の小林氏の情報ですが、残された時間をあこがれの地であった京都ですごしたいということで昨年の秋に京都に引っ越しをされました。今年度も引き続き、土曜講座を継続していきますが、大学側と協力し魅力あるテーマに取り組んでいきたいと思っております。

同窓会活動の中でも中核をなす地方支部では支部総会開催が35支部にも及び、昨年の30支部を上回り、ますます活発に活動を継続しております。卒業生による特別講演なども組み込んでより魅力的な集まりにできるようそれぞれの支部で工夫されていることは喜ばしいことでもあります。一方、参加者の顔ぶれをみると固定化しているとか、若い方・女性の方が少ないなど課題も抱えており本部とも連携しより幅広い方々の参加を増やすよう努力していくことが肝要となっております。

同窓会の準会員である現役学生への支援活動ですが、本部内の準会員部会が中心となり様々な支援活動を実施しております。地方学生奨学金制度も定着しており、2016年度は38名の学生さんに給付いたしました。同窓会からは200万円の拠出を行い、大学側と合わせ一人10万円の奨学金となっております。

広報部会では広報部会長として編集長も務めて頂いた白鳥常任理事が退任することとなり、今回の会報が最後となりました。長年に亘るご貢献に対しあらためて感謝いたします。後任には、広瀬常任理事がつとめることとなり、新たな紙面づくりに向けいろいろな企画にちからを入れていきますので皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。また、月一度発行しているメルマガも軌道に乗りつつありますがご意見・ご要望等ございましたら是非ともご連絡願います。

今回の会報で学長との対談が掲載されておりますので詳細はお読みいただいていると思いますが、大学側も様々な努力を重ねてきており評価も年々上がってきております。ロンドン大学との提携によるPDPも3年目に入り、今年度よりは人文学部のGCS、社会学部のGDSCの新コースもスタートを切る等グローバル教育にますます熱が入っております。具体的な指標としては、2017年度の受験者数が過去最高での1万7千人を超え前年比で約1.2倍となっております。また、武蔵高校からも5名が経済学部に入學をするなど変化の兆しがあらわれています。2022年には武蔵学園100周年を迎えることになり、朝霞クラブハウス建設、高校理科棟建設等様々な記念事業が進行中であります。一方、大学は2019年に70周年を迎えることとなります。同窓会として、どのような企画にするか検討を開始いたします。

最後に、毎度のことで恐縮ですが、年会費の件でお願いいたします。今年度の年会費徴収実績は昨年と同様に前年を若干下回る結果となりました。同窓会の様々な活動を通し年会費納入への働きかけを行っておりますが、残念な結果となっております。先ほどの幹事総会の場でもお願いしましたが、各年次の幹事の皆さんを中心とした同期の皆さんへの働きかけ、地方部会を含めた様々なイベントへの呼びかけ等同窓会活動への参加率を高めることがなにより重要なことと思います。本日、おあつまり頂いた方々は十分にご理解されていることと思いますので、皆様がお持ちになっているその輪を少しでも広げていくようお願いし私の挨拶とさせていただきます。